

# 新田サドベリースクールニュースレター (仮題)



## 新田サドベリースクール

SHINDEN SUDBURY SCHOOL

### ♪ ニュースレターを創刊しました。よろしくお祈いします! ♪

平成 27 年 4 月、火曜日から土曜日の週 5 日での運営が始まり、いよいよ平成 28 年度 4 月からは、月曜日から金曜日の週 5 日+土曜日の運営となり、スクールとしての活動も日を追うごとに本格化し多様化しています。そんな新田サドベリースクールの様子を、スクール関係者や保護者の皆さまのみならず、広く地域の皆さんにも知っていただきたいという思いから、このニュースレターを創刊しました。年に 3~4 回の発行を目指していますが、のんびりお付き合いいただけましたら幸いです。

### ♪ 子どもたちに突撃インタビュー！昨年度楽しかったこと、今年度やりたいこと… ♪

新田の豊かなフィールドで、ロッジに屋外に存分に活動を楽しんだ子どもたち。彼らはどんな風に 1 年を振り返り新しい期待に胸を膨らませているのでしょうか？子どもたちに直接聞いてみました。

### ♪ 昨年度 楽しかったこと ♪

#### Ssくん (11 歳)

- ・基地作り ・サッカーをしたこと。
- ・社会科見学 ・みんなと遊んだこと。
- みんなと話合ったこと。・おでんを作って皆で食べたこと。・宿泊体験をしたこと

#### Nrさん (8 歳)

- ・魚釣りが楽しかったです。41 匹釣れました。お父さんが料理しました。美味しかったです。・お化け屋敷が楽しかったです。



#### Mkさん (6 歳)

- ・魚釣り ・皆と遊んだこと。
- ・社会科見学に行ったこと。宿泊体験をしたこと。・帰りの会をしたこと。

#### Htくん (11 歳)

- ・基地作りが楽しかった。

#### Rkさん (8 歳)

- ・砂丘への遠足・Hrちゃんとそりをしたこと。・焚き火をしたこと。・お母さんと料理を作ったこと。・キティゲームをしたこと。・弟と遊んだこと。・電車に乗ってサドベリーに来たこと。・Stちゃんと雑巾を作ったこと。・クリ坊（ウリボウにつけた名前）と会った時が楽しかった。・新田の水飲み場で遊んだこと。

#### Hmくん (7 歳)

- ・人生ゲーム、トランプ、カルタ、TV 電話、薪ストーブが楽しかった。・西村山が楽しかった。(ブランコ。山小屋。)

#### Mpくん (8 歳)

- ・基地作り、畑と田んぼが楽しかった。





## 新田サドベリースクール初年度報告

新田サドベリースクール 共同代表 西村早栄子

昨年智頭町に『新しい学校』が誕生しました。『新田サドベリースクール』です。この学校のどこが新しいのでしょうか。一般的な学校では、勉強の内容、時間、方法はすべて先生が決めて、基本的に先生に習いながら学んでいきます。しかしこの学校では、子ども達の自主性・主体性を認め、何をいつどのように勉強するか、子ども達が自由に決めることができます。勉強だけでなく、『今日』という日をどのように過ごすかも自分たちで決めることができます。一日中仲間たちと遊んでも良いし、一人で釣りをしても良いし、好きな時に好きなだけ本を読むこともできます。学校の運営すら、子ども達がスタッフと一緒に意見を出し合って決めて行けるのです。では、この学校は子ども達の『やりたい放題』の無秩序な学校なのでしょうか。それは違います。この学校は『社会の縮図』であると考えていますので、大原則として『人に迷惑をかけるはいけない』ことになっています。子ども達は『人に迷惑をかけない範囲で自由』なのです。ただ、子ども達は未熟ですので失敗をします。自分の自由が他人の自由を阻害してしまうこともあります。そのような時は、何でも皆で話し合い『どうしたらよいか』を皆で決めていく学校でもあります。話し合ったり、譲り合ったり、時にはルールを決めたり。このようにしてこの学校は作られていくのです。こういう理念でこの学校は運営されています。昨年一年間、子ども達はどのような様子だったかをここに報告したいと思います。そして地域の皆さんにもっと『新田サドベリースクール』を知って頂けたらと願っています。

開校当初、小学5年生を筆頭に、6歳児（年長さん）までの男女6名でスタートした『新田サドベリースクール』でした。当初は、子ども達もスタッフもどこまで子ども達の『自由』を認めてあげるのか、お互い様子を見ながらのスタートでしたが、スタッフが心配した『何をしてもよいか分からない』『何もすることがない』といった子どもは一人もおらず、毎日のように『あれがやりたい』『これがやりたい』の毎日でした。9月頃から途中入学者が8名増え全体で14名となりました。これにより子ども達の関係性がガラリと変わりました。年長者のコミュニティーと年少者のコミュニティー、その日の遊びグループも複数できて、自分の気分でこちらの遊びからこちらの遊びへと渡り歩く子どもの姿が見られるようになりました。子ども達の関係性も複雑化して、それぞれ居心地良さそうになりました。年長者も、年少者を巻き込むのに『力づくで』やるのは限界があることに気が付き、上手に誘ったり褒めたりその気にさせたり、工夫する様子が見られました。

秋ごろより、私たちスタッフは『話し合いの質』を上げるように意識し始めました。話し合いの質がだんだん向上していくにつれ、子ども達から『もっとこんなことをしたい』とか『本当はこういうことは嫌だった』等といった意見や本音が出てくるようになってきました。そういう声を丁寧に拾って、2月にはスキー遠足、3月には社会科見学（水島三菱自動車工場と倉敷科学館）を子ども達（実行委員）が中心となって企画し実施することもできました。

大人たちの心配はよそに、子ども達は日々満足して活動に参加しています。まだ年齢の低い子が多いこともあり、机に向かって勉強することは少ないですが（しかし、そういう姿も見られ始めています）、私たちは日々の活動からも子ども達は多くを学んでいると思っていますし、今後の学びへの意欲につながるような機会にも多く出会っているように思います。何より、子ども達の内から出てくる『やりたい』を大切にすることが活動のポイントだとも思っています。子ども達は皆向上心にあふれ、『今よりもよくなりたい』と思っています。日々子ども達が興味を持つ活動を積み重ねることからでも、子ども達は成長していきます。いや、むしろそういう『快』の体験を積み重ねることが、自尊心や向上心、他人を思いやる気持ちなどを育てていけると考えています。私たちは今後も子ども達の持つ力を100%信じて、この学校を子ども達と一緒に築き上げていきたいと思っています。時に町内のたくさんの大人たちの力を借りることがあるかもしれませんが、その時はどうぞ暖かく応援していただけましたら嬉しく思います。どうぞよろしくお願い致します。

### 🍃 スタッフ紹介 🍃



みなさん、こんにちは。佐藤陽子（さとちゃん）です。北海道で生まれ育ち、横浜、東京、栃木を経て昨年夏に西粟倉村へ引っ越してきました。

今年の4月から新田サドベリースクールのスタッフを務めさせていただくことになりました。

サドベリースクールでは、「100%子どもたちを信じる」ことを目標に子どもたちと関わっていきたくと思っています。楽しく遊んでいても、困ったことがあっても、派手に喧嘩をしていても、子ども達は自分で解決する術を持っています。時間はかかるし遠回りかもしれないけれど、子どもたち自身の内側から自然な流れで喜びや反省や癒しが起こるのを待てる場。その時間や機会を、周囲が邪魔することなくゆったりと見守る場。それが、サドベリースクールだと思っています。これからの子どもたちとの関わりをととても楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。